

# 木賊（とくさ）川における

## 皆が親しめる緑豊かな川づくり

—平成 17 年度第 4 回災害復旧技術発表会資料より

### 概要

#### ■ 『木賊川の紹介』

木賊川は岩手山の麓から盛岡市北部を流下し、北上川に合流する県管理の一級河川です。

◎上流部～中流部：絶滅危惧種であるカワシンジュガイも生息する等、多様な生態系を有する自然環境豊かな区間となっています。

◎中流部～下流部：人工的なコンクリート護岸を主体とした都市河川のような様相となっていて、その中でも事業区間は県営運動公園内を流れ、緑豊かではあるものの、フェンスによって公園とは切り離された空間です。



木賊（とくさ）



※「木賊（とくさ）」とは・・・トクサ属の一つで、茎の少し黒味をおびた深い緑色を木賊色という。この植物が河川沿いに繁茂していたことが木賊川と呼ばれるようになった由来とされます。

#### ○ 『平成 16 年 7 月の梅雨前線豪雨により被災』

記憶に新しい平成 16 年 7 月に福井県及び新潟県に豪雨をもたらした梅雨前線が東北地方へ北上したことにより豪雨となったものです。降水量は当該箇所の上流域で時間雨量最大 27mm、24 時間雨量 98mm に及びました。このため、河川に急激に集まってきた雨水により下流の水位が上昇して護岸が被災を受けました。復旧にあたっては、単なる災害復旧事業ではなく、被災箇所を改良して復旧を行う特定小川災害関連環境再生事業により申請し、採択を受けました。

増水時の状況

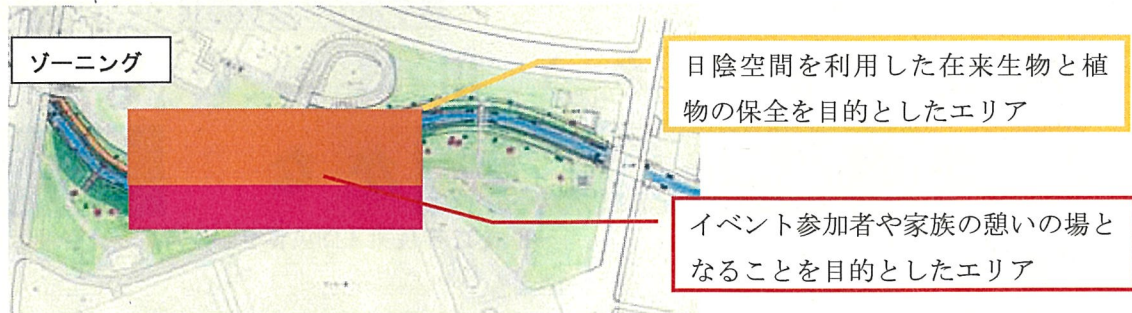


#### ○ 『計画概要』

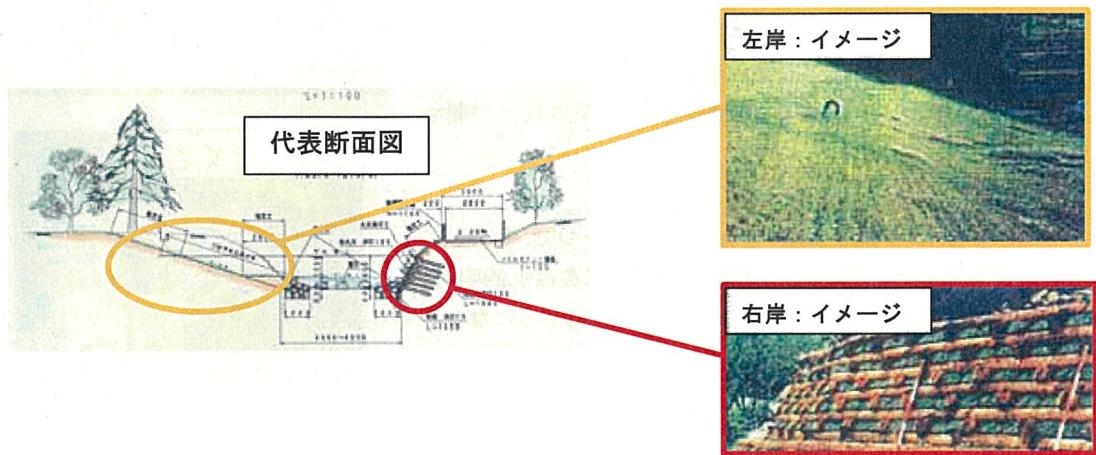
特定小川災害関連環境再生事業は市街地の小河川が洪水で被災した際に、護岸の傾斜を被災前よりも緩めて整備することで、単なる被災箇所の復旧にとどまらず、治水機能に加え、人が川と親しめる憩い場の創出も行える事業です。

流域住民との懇談会の際にいただいた当該河川の整備に関する提案を反映させながら、既存の公園施設の利用形態等を運動公園管理者と協議し、事業区間や護岸の構造を検討しました。また、河川周辺の利用形態を勘案して、ゾーニングを行い、人の憩いの場を目的としたエリアと在来種の保全を目的としたエリアに分け、それぞれに最も適した護岸の構造を決定しています。





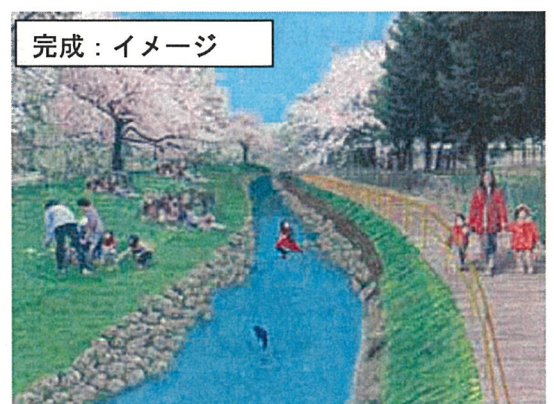
また、有識者等から現地調査も交えて、助言をいただきながら工法の決定を行いました。サッカー場等がある南側は人の憩いの場とするエリアとし、イベント開催時には選手のレストスポットや家族の憩いの場として人と川がふれあう空間を創出できるよう芝で覆われた緩い傾斜の護岸工法を採用することになっています。一方、交通公園側は北に面していることから、在来種の保全を目的としたエリアとし、在来の中低木を生かした日陰空間の確保と、水生生物も含めた在来種の保全と豊かな生態系の形成が促されるようコンクリート構造ではない、丸太を格子状に組んだ木製護岸工法を採用することとしました。



### ○ 『工事実施にあたって』

平成 17 年 10 月から工事に着手し、平成 18 年 3 月には完了予定です。工事の実施にあたっては、公園利用者へ事前に工事予告の看板やポスター、チラシを活用して周知したり、木賊川の流域住民には定期的に配布を行っている「川づくりかわら版」で事業の進捗具合を紹介したりすることで、PRを実施しています。

平成 18 年 3 月には生まれ変わった木賊川と触れ合うことができるでしょう。





## ○ 『おわりに』

今回の事業実施によって公園と河川が一体となることで、人が川と親しみ、心の安らぎを得られる憩いの場となることが期待されます。

また、平成 17 年 12 月 1～2 日にかけて千葉県で行われました（社）全国防災協会主催の「平成 17 年度第 4 回災害復旧技術発表会」において、岩手県盛岡地方振興局土木部河川砂防課都市河川スタッフ 北館康弘主任が当事業に関する発表を行い、『優秀賞』を受賞しました。住民と有識者の意見を積極的に取り入れた事業計画とすることにより、みんなが親しめる緑豊かな川づくりの模範事例にふさわしいという点で高評価を受けました。

最後に、住民懇談会で木賊川の整備に関してたくさんのご提案を頂きました周辺住民の方々や、水生生物・植物の保全に関して専門的なアドバイスを頂きました災害復旧工法等検討委員会の委員の方々等、この事業の計画と採択に関わった全ての方のご協力によって上記の賞の受賞に至りました。関係者の方々へ深く感謝致しますと共に、この場を借りて感謝の言葉とさせていただきます。

今後、住民との協働による草刈やゴミ拾いを継続的に実施し、公園利用者等の環境意識がさらに高まっていくことで、ヤマメが泳ぎ、カワシンジュガイが生息する上流部のような清流を蘇らせることを目標に、岩手県としても積極的に維持管理に取り組んでいきたいと思っています。

住民協働による草刈り



カワシンジュガイ



## ■お知らせとお願い

### ○水位監視カメラを増設しました。

盛岡地方振興局土木部では、木賊川の水位の状況をリアルタイムで監視し、迅速な水防活動や住民の避難を支援するために水位監視カメラを設置しております。また、携帯電話からも画像による水位の状況を確認できるようになりました。

アドレスは、パソコンからは、<http://www.morioka-kasen.jp>

携帯電話からは、<http://www.morioka-kasen.jp/mobile>



### ○油の管理にご注意ください。

朝晩の冷え込みも厳しくなり、ストーブが欠かせない季節となりました。この時期になりますと、毎年、油の河川への流出事故が多発します。今一度、ホームタンクの配管に亀裂や漏れがないかチェックをしてみてください。

一度、油の流出事故が発生しますと、地中に染み込んだ油の回収や河川や水路での油の処理などに多額の費用がかかり、これらの費用は、基本的に原因者負担となります。



過去に発生した油流出事故の状況